

旧斎藤家・夏の別邸とは

新潟市中央区西大畑町の、料亭行形亭に隣接する邸宅。明治・昭和初期に鍵富家、白勢家と並ぶ新潟三大財閥と言われた斎藤喜十郎家が、大正7年に建てた別荘で、戦後加賀田組創業者が購入した。私邸ゆえに「これまで一般公開されていなかった、知る人ぞ知る西大畑の名庭と名建築である」。

建物は格式高い日本建築。庭は大正6年から9年にかけて、当時25万円という巨費を投じて造られたもので、作者は東京の高名な庭師松本幾次郎。滅び行く江戸の大名屋敷の名石を選んで運び込んだ。砂丘の斜面を生かし見事にまとめられた庭は商家の庭として全国でも有数の規模を持つ回遊式の名庭園である（敷地面積約1330坪）。

本宅2階座敷は、庭の池に映る月を楽しんだことから「観月亭」と名付けられ、しばしば大規模な茶会に使用され、昭和30年には日本棋院（囲碁の本因坊戦の対局にも使われた）。

加賀田組の経営難により資産管理会社に所有の移った本邸は、2008年内の売却予定が伝えられ、その存続が危ぶまれている。

八月三日「旧斎藤家夏の別邸の保存を願う市民の会」が発足、新潟市による同邸宅の購入決定を促す運動が2008年夏より行われているが、11月下旬現在、新潟市議会での成り行きは予断を許さない状況であり、緊急ではあるが最後の一般公開を行うことになった。

存亡の危機を迎える 西大畑の知られざる名園 「旧斎藤家・夏の別邸」

第3回

一般公開



【2階「観月亭」より庭を望む】

■日時 11月30日(日)
am10:00～pm4:00

■入場無料

■主催：旧斎藤家夏の別邸の保存を願う市民の会
※会場には駐車場がありません。公共交通機関をお使いの上お越しください。
(バス：新潟駅より美術館線(新潟市美術館前行き)に乗車、
「東大畑通二番町」で下車。徒歩3分)

詳しい内容はホームページをご覧ください。
<http://savesaito.exblog.jp/>

